

重点プロジェクトに係るこれまでの取り組み（R3.3.25開催検討会議以降）と今後の予定について

重点プロジェクト	これまでの取り組み	今後の予定
<p>都市建設部の体制強化</p> <p>○ 体制強化</p>	<p>1 函館市西部まちぐらしデザイン室の体制強化</p> <p>西部地区再整備事業の本格化に伴い、「函館市西部まちぐらしデザイン室」に専任の西部地区再整備担当次長を令和3年4月1日付で配置した。</p>	<p>—</p>
<p>共創のまちぐらし推進プロジェクト</p> <p>○ まちぐらし事業の検討・実施・検証 市民等の創意工夫によるまちぐらしの実現に向けた取り組みを進めるための実証実験</p> <p>○ まちを学ぶ場の提供 持続的にまちに関わる人材を育てるための学びと実践の場の提供</p>	<p>1 函館市西部地区まちぐらしシンポジウムの開催</p> <p>西部地区再整備事業の実施主体となるまちづくり会社、「株式会社はこだて西部まちづくRe-Design（通称：HWeR/エイチ・ウィー・アール）」が地域の官民連携により設立され、これを記念し、「函館市西部地区まちぐらしシンポジウム」を開催した。なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み無観客とし、YouTubeでのライブ配信（アーカイブ配信含む）とした。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【開催概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催日時：令和3年8月28日（土） ○開催場所：五島軒本店王朝の間（プログラム） <ul style="list-style-type: none"> ・新会社代表挨拶・会社概要説明 ・基調講演 講演者 岡崎正信（まちの未来をこの手でつくる） 講演者 北原啓司（空間を場所に変えるまち育てのススメ） ・パネルディスカッション「西部地区のまちぐらしを語る」 ・アーカイブ配信 8月30日～9月30日（参考：9/20現在、視聴 1,350回） ・アンケート調査：結果をまとめ次第、後日、ホームページ等で公開する予定 </div> <p>2 共創のまちぐらし推進プロジェクト企画会議</p> <p>本格的な取り組みを開始するにあたり、西部地区まちぐらし検討会議委員をはじめ、地元事業者や地元団体等にご参集いただき、「共創のまちぐらし推進プロジェクト企画会議」を開催した。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【開催概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催日時：令和3年7月10日（土） ○開催場所：旧北海道庁函館支庁庁舎 ○参加者：32名 （内容） <ul style="list-style-type: none"> ・函館市西部地区再整備事業について 再整備事業の概要について（函館市説明） 共創のまちぐらし推進プロジェクトの進め方について（岡本座長説明） ・共創のまちぐらし推進プロジェクトについて まちを育てるエリア・アプローチについて（北原アドバイザー講話） アイデア具現化ワークショップ（3グループ編成） </div>	<p>1 「西部地区まちぐらし検討会議」の開催 主に重点プロジェクトに掲げる事業の進め方の検討や意見交換等を市民と協働で行う。</p> <p>2 「西部地区まちぐらし推進プロジェクト企画会議」および「共創のまちぐらし推進プロジェクト（まちぐらし事業・まちを学ぶ場の提供）」の推進 「西部地区ならではのまちぐらしの実現」に向けて、多様なまちづくり関係者と広く意見交換を行うとともに、その内容を市民と共有することを目的に開催し、個別のまちぐらし事業やまちを学ぶ場の提供など、プロジェクトの推進を図る。</p> <p>3 共創のまちぐらし活動の推進 地域のまちづくり活動への支援や協力をはじめ、本年12月に第5回共創学会年次大会が本市で開催する予定であることから、共創のまちぐらし推進プロジェクトとしても、実施主体と連携した取り組みを図る。</p>

<p style="text-align: center;">既存ストック活性化プロジェクト</p> <p>○ 不動産データベースの構築 低未利用不動産の所在地・面積・地権者等の情報集約</p> <p>○ 民有の低未利用不動産等の流動化促進 民間実施団体による不動産の取得・仲介等</p> <p>○ 公有の低未利用不動産等の利活用 活用策の検討および地区の活性化に向けた積極的な展開</p>	<p>1 西部地区再整備会社の設立について 函館市西部地区再整備事業で目指す「居住と観光が融合したまちづくり」を進めるため、函館市および函館商工会議所を発起人として、本年7月に株式会社はこだて西部まちづくRe-Designが設立され、その後、8月17日に(株)REVICが運営する「観光遺産産業化投資事業有限責任組合」および地元事業者様8社による出資が完了し、本格的に事業を開始した。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【会社概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社名 はこだて西部まちづくRe-Design ・所在地 北海道函館市元町14-1（国際交流施設1階） ・設立日 2021年7月29日 ・資本金 5,000万円（函館市40%，民間60%） ・事業内容 函館市西部地区におけるまちづくりや地域課題解決に資する不動産の利活用に関する業務 ほか </div> <p>2 「既存ストック活性化プロジェクト実施方針」の作成 基本方針に掲げる「既存ストック活性化プロジェクト」を推進するため、以下の3つの事業を重点的・計画的に実施することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点整備街区再整備事業 ・民有不動産再整備活用事業 ・公有不動産再整備活用事業 	<p>1 低未利用不動産等の利活用について 公有の低未利用不動産等の利活用として、旧北海道庁函館支庁庁舎について株式会社はこだて西部まちづくRe-Designから活用意向が示され、今後、文化財および公園を所管する部局と活用に向けた協議を行っていく。</p> <p>2 低未利用不動産等データベースの更新 低未利用不動産等データベースについて、定期的なデータ更新を行いながら、地権者等との協議が円滑に進められるよう、重点整備街区について精査していく。</p> <p>3 「西部地区再整備事業アドバイザー」 事業の効果的な推進を図るため、引き続き、都市政策等に関する分野の専門家より、専門的かつ実践的見地から先進事例の紹介や事業手法についての助言等を得る。</p>
<p style="text-align: center;">町会活性化プロジェクト</p> <p>○ 新たな人材との協働による町会活性化の推進 モデル町会と市職員や、学生等の新たな人材との協働による町会活性化のためのプロジェクトの実施等</p>	<p>1 新たな人材・担い手との協働による町会運営の活性化に向けた取り組み 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、モデル町会を選定し、課題解決に向けた取り組みを見合わせ、若者が町会・地域コミュニティ活動に参加しやすい環境づくりや仕組みづくりなどの取り組みを推進するため、新たな人材・担い手として、弁天町に拠点がある函館荘プロジェクト（わらじ荘等）の協力のもと、その必要な方策等を協議した。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【新たな人材・担い手】</p> <p>函館「荘」プロジェクト関係者（代表 下沢杏奈氏） 弁天町：旧野口梅吉商店「わらじ荘」，弁天町：旧西浜旅館「みなも荘」，谷地頭：旧中国茶屋「きらく荘」に居住し、「荘」を拠点に様々なまちづくり活動を展開</p> </div> <p>2 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施 地域コミュニティを支える町会の活性化に向け、弁天町会をモデル町会として、新たな担い手である函館荘プロジェクトと市職員および町会が協働で、町会の活性化に必要な方策を検討・実施のうえ、効果の検証等を行っている。（現在取り組みを実施中）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【取り組み内容】</p> <p>町会館を活動拠点とし、毎月第2・4金曜日の15時から「しゅくだいクラブ」・「スマイルクラブ」と題し、子供向け行事の開催や、弁天暮らしセミナーの企画・開催をし、現在も取り組みを継続中。</p> </div>	<p>1 新たな人材・担い手との協働による町会運営の活性化に向けた取り組み 新たな人材との協働による町会の活性化に向けた取り組みを引き続き実施する。 ※モデル町会（元町・弁天町会）の継続的な取り組みを支援</p> <p>2 モデル町会の選定 令和4年度のモデル町会を令和4年3月までに公募等で決定する予定。 ※個々の町会だけではプロジェクトに取り組むことが難しい場合、各町会と協議しながら、複数の町会や関係団体等と連携して取り組む形にも柔軟に対応する予定。</p>